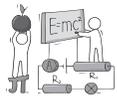




# お気に入りの貝殻探し — きみの名前は? —



【個人出展】

奈良県立奈良高等学校 米田 敬司

## ●どんな観察なの？

海にはいろいろな種類の貝がすみ、砂浜にはきれいな貝殻がいっぱい打ち上げられています。独特な形、様々な色合い、不思議な模様。そのひとつひとつが名前を知るヒントになります。気に入った貝殻を選んで、図鑑で名前を調べてみましょう。手に取って、絵合わせをして、楽しみながら名前を調べることができます。名前が分かると、その貝の様々なことが調べられます。いったいどんな生き方をしているのでしょうか。ケースに整理して、ラベルを添えると、標本のできあがりです。すてきな置物になりますよ。豊かな自然に生きる貝類の多様性を感じてみませんか。

## ●観察のしかたとコツ

### 【用意するもの】

サクラガイなどの貝殻、ザルガイ科の貝殻、タカラガイ科の貝殻、イモガイ科の貝殻、ニシキウズガイ科の貝殻、図鑑

### 【観察のしかた】

(1)貝の種類は大きく巻き貝と二枚貝に分けられます。どのような特徴で見分けられるか観察しましょう。

(2)いろいろな種類の貝が入ったトレイから、自分の気に入ったものを7つ選びましょう。

(3)図鑑を参考に形・色・模様などを比べて、その貝の名前を探しましょう。

・サクラガイの仲間は薄い二枚貝で、ピンク色の種類が多いです。ざらざらのすじ（成長線）のある種類もいます。

・ザルガイの仲間はタテのすじ（放射肋）がはっきりしているものが多く、形をよく見ると見分けられます。

・タカラガイ科の貝殻は、樽型に巻いた中央に歯のある殻口が開いています。色や形から、見分けられます。

・イモガイの仲間は細い円すい形の巻き貝で、斑点や縞模様が見分けるポイントになります。

・ニシキウズガイの仲間は広い円すい形の巻き貝です。殻の色や、殻底の模様で見分けられます。

・タマガイ科は、他の貝に穴をあけて食べる種類です。殻底のへその部分に特徴があります。

・アサガオガイ科は、青い色合いが特徴です。海面に浮かんで生活します。

(4)ラベルに科名と種名を記入して、図1のように貝殻を標本ケースに整理します。

それぞれの種類がそれぞれの生き方をしている、そのため適した形と色を持ち合わせています（生物多様性）。

名前を覚えて、今度は海で出会えるといいですね。

## ●気をつけよう

観察の前後は、手をよく洗きましょう。

## ●もっとくわしく知るために

・奥谷喬司著「フィールドベスト図鑑 日本の貝1・2」学研（2006）



図1 標本例



図2 多様な貝の種類